

# AIRHEADS通信

vol.

85

## クラウドシフトが鮮明に！ “Tech Talk Live”に潜入してみた！【その3】

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。  
パートナー営業本部の山田悠太です。

先日Arubaの社員旅行で北海道に行ってきました。

お決まりの観光地を巡るのも悪くないのですが、  
“フットサル”を趣味と公言するほど、体を動かすことが大好き私。

そこで、せっかくならということで

人生初の**カーリング体験**を！！



カーリングブラシを使ってストーンを自在に操る。

ってか、**1個10万円以上もするんですね、**  
**ストーンって！！**

氷上を滑ったりブラシでこすったりするような動作に慣れていないせいか、結果的には筋肉痛になったのですが、想像以上に楽しかった！！

現場では『そだねー』を連呼し続け、妙なテンションにw  
心地よい疲れとともにカーリングを思う存分楽しむことができました！

でも、結局仕事は忘れられないもので、  
あるお店で競合のAPを見つけては“今度リプレース提案しようかな”と  
頭の中で考えてしまう始末。

他のお店では自社のAPがあるとなぜかほっとしてしまう、入社2年目の自分を再認識。

**これがサラリーマンなんのでしょうか、先輩方。**

## クラウドシフトが鮮明に！

### “Tech Talk Live”に潜入してみた！【その3】

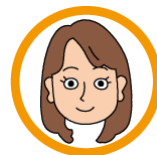


3回にわたってお伝えしている、2019年6月に東京大学にて開催された「HPE Aruba Airheads Tech Talk Live!」の最終回。クラウドシフトを推し進めるArubaの要となるAruba Centralの話題から、ClearPassとSSOソリューションであるIceWallとの連携で得られるメリットなど、盛りだくさんの話題を一挙にお届け！



**大輔（だいすけ）**

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



**美咲（みさき）**

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



前回お伝えした“いまさら聞けない”シリーズも参考になりましたが、他にも興味深いものがありました？



明らかに“クラウドに集約するよ！”っていう強いメッセージかな。Aruba Centralを中心にさまざまな機能をコンテナ化して提供していくってやつ。



ロードマップではその傾向が鮮明ですよ。



Network as a Serviceなんていうキーワードも出ていたから、クラウドを経由した管理によってネットワークも“所有する”から“利用する”、簡単に外部委託できる日もそんなに遠くないんだろうね。

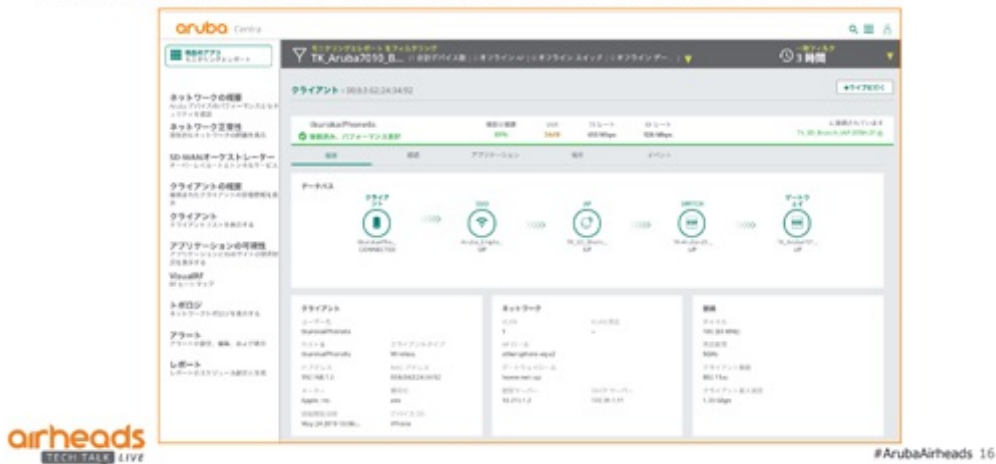


私もAruba Centralの画面を見ましたけど、「クライアントビュー」を見ると、たとえ遠隔地からでもどの端末がどのAPIにどんなラジオでつながって、どんなサービスとやり取りしているのかが一目瞭然ですもんね。

## クライアントビュー

- ブランチのエンドユーザーの接続とトラフィックビューを表示

- 端末視点のビューにアプリケーション利用、トラブルシューティング、ユーザー体感を表示

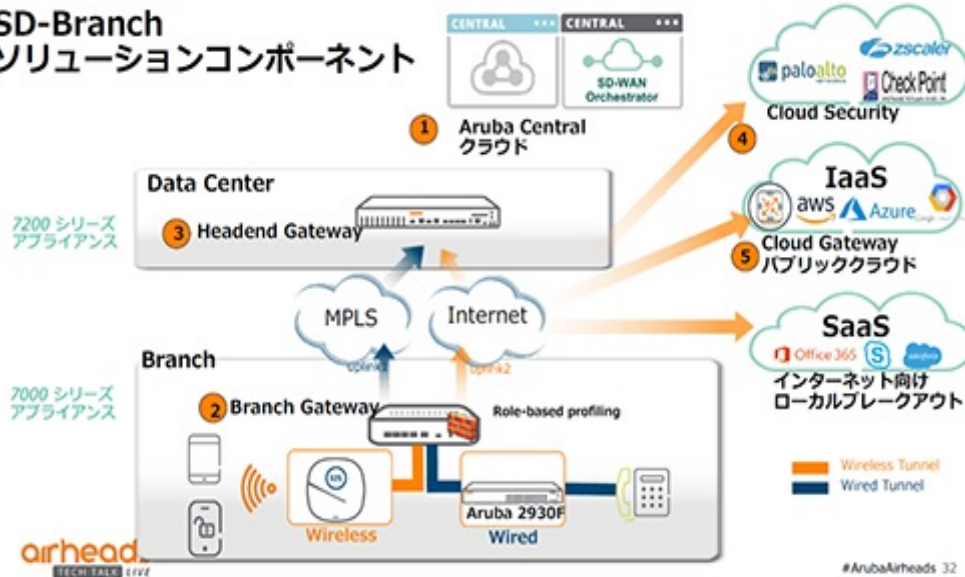


まさに可視化ってああいうことだよ。見えないものだった無線が遠い昔のようだよ。そうそう、ソフトウェアでWANもLANも制御できるソリューションも興味あるな。うちって拠点多いからさ。



「SD-Branch」のことですかね。ブランチに置いたゲートウェイでWANトラフィックを制御したり、LAN内でのアクセスコントロールをロールベースで行うことができるソリューションですよ。

## SD-Branch ソリューションコンポーネント



現場にAPやスイッチ、ゲートウェイを送って電源入れれば、勝手にクラウドに接続し、つながるようになる“ゼロタッチプロビジョニング”なんて、我々にとってはとってもありがたい機能だもんな。



セキュリティ機能が実装されたネットワークがクラウドで簡単に運用できる、そんな時代なんでしょうね。



でも、決してオンプレミスを辞めるのではなく、提供し続けるってことも忘れちゃいけないね。クラウドで得られた知見をオンプレミスにも適用していくってさ。



金融機関や自治体などクラウドが難しい業界もありますからね。で、他にも気になるものってありました？



あとはFIDO2っていう生体認証との連携の話があったな。確かIce Wallっていう製品と連携できるって。FIDO2がそもそもわかってなかったけど。



FIDO2は、指紋認証や顔認証やPINコードなどを基に生成した秘密鍵と公開鍵を用いた公開鍵暗号の仕組みによって、ユーザーを認証する技術です。実はFIDO2の技術をWebに対応させた「Web Authentication」、いわゆるWebAuthnをW3Cでも策定していて、すでにWebブラウザでFIDO2が利用可能なんです。



よく知っているね、美咲くん。



まあ知識だけは。そうそう、IceWallってSSOソリューションでシェアNO.1のやつですよ。Ice Wallとの連携についても話が出ていたんですね。



内部脅威への対策に関するセッションで話題になっていたな。



最近ではWindows Helloなどの顔認証もPCで普通に使われるようになってきていますもんね。



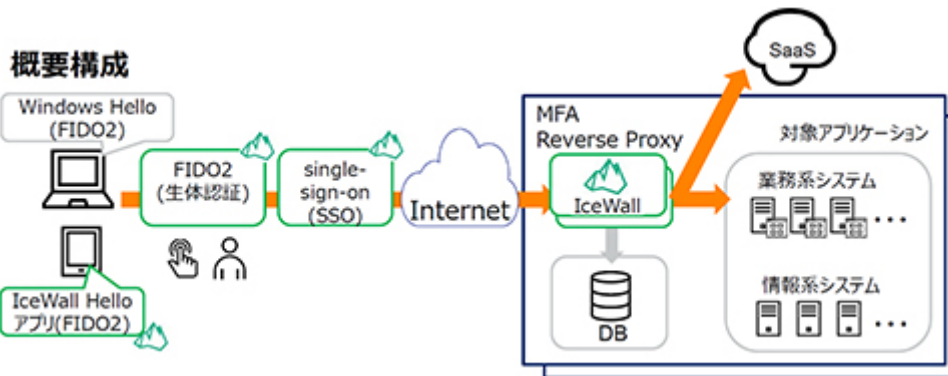
最近PCを開いたらログイン画面がほとんど出ないけど、あれってWindows Helloで顔認証しているってことなんだ！？今気づいた。



Windows Helloで認証したらそのままクラウドサービスの認証できちゃうってことでしょうかね。



RADIUS認証、ようはClearPassとの連携で、生体情報のFIDO2にClearPassの認証を行うと、そのままOffice 365などの認証までシングルサインオンで対応できちゃうみたい。



まさにネットワーク認証とWeb認証を同時に行うことができますと。



そんなこと言っていたな。

IceWallとClearPassが連携することで実現できるって。もちろん生体認証だけでなく、他の認証手段も含めた多要素認証もできるみたい。



毎回認証していたら、手間もかかりますし、パスワードってそんなに覚えてられないですもんね。



そういうこと。セキュリティは大事だけど、手間が増えると生産性が上がらないから。



大輔さんの働き方が生産性高いとは思えませんけど...



それは...まあおっしゃる通りで。

あと、新しい製品の話も出ていたな。えっとIoT端末など新たなデバイスを認識

するやつ。えっと...



「ClearPass Device Insight」ってやつですよ。この前ディーンから聞きましたよ。



そうそれ！

**ClearPass Device Insight**

**ゼロ・ブラインドスポット**  
DPIを使ったプロファイリングで  
接続端末の全容を把握

**未知の端末を可視化**  
機械学習とクラウドソーシングを使った  
IoTのプロファイリング

**全てのデバイスにセキュアアクセス**  
ClearPass連携で不審な端末を隔離

airheads  
#ArubaAirheads



DPI（Deep Packet Inspection）とかを使って、トラフィックなども見て接続してくるデバイスを識別するソリューションって。



ClearPassの一部なの？



いや、全く別のソリューションみたいですよ。社内に情報収集するコレクターを設置して、トラフィックなども見て接続する端末を認識するみたいです。



IoT端末が増えると、よくわからん機器も増えてくるからねえ。予期せぬ端末だとどうロールを設定していいのかわからなくなるもんね。ああ、あとIntroSpectも改めて紹介されていたよ。



なんか情報がてんこ盛りですね。大輔さん、大丈夫です？



いや、もう忘れちゃったよ。なんだっけ、IntroSpectって。



機械学習による行動分析によってリスクをスコアで示してくれるってやつです。同じ属性のピアと比較して、“この行動、おかしいかも”を教えてくれるんです。



ああ、思い出した。ClearPass Device InsightもIntroSpectもAruba以外でも使えるって言ってた。



そうなんですか？ そんな認識なかった。



それぞれネットワークから情報収集するコレクターを設置し、その情報を分析するわけだから。Aruba独自の機能で行っているわけじゃないんだって。



確かにそうですよね。

でも、そのリスクをもとに制御するのがClearPassであり、ルールベース制御を実現するダイナミックセグメンテーションなわけですね。



そうそう、そんな感じ。ルールの考え方やルールの割り当て方法なんかも分かりやすく紹介してくれていたな。有線スイッチでのルールベースの制御が可能になっているし、無線LANコントローラとの間でGREトンネルを張れば、DPIやファイアウォール機能も含めて高品質な制御が可能になるって。



全然理解しているじゃないですか。



いや、僕のメモに書いてあったから。



まあ、全部理解するのは大変ですからね。



まあ今回3回にわたって振り返ったTech Talk Liveのイベントだけど、まあ盛りだくさんだったね。刺激が多いのはよいのだけれど。



それだけ技術の進化も早いし、メーカー側も伝えたいことがたくさんあるんでしょう。



いずれにせよクラウド化が鮮明になったし、IoT時代に応じたセキュリティ実装が進んでいるという印象かな。



正しいまとめだと思いますよ。



もう知識はおなかいっぱいだからさ。おなかも満たしたいね。あ、そうだ、イベントが開催された東京大学本郷キャンパス内の「厨 菓子 くらぎ」でわらび餅でも食べようよ！あそこ、絶品だから！



...お菓子メーカーとして甘味処の名店をチェックする姿勢は尊敬しますが...その情熱をシステム部門にも還元してくれませんかねえ（呆）...

南から北まで全国5か所で開催！

Airheads Meet up

<https://connect.arubanetworks.com/Airheads-meet-up>

Arubaを皆さまの最寄りの都市でご紹介させていただくことになりました！  
最新の市場動向やArubaのポジショニング、中小規模ネットワーク向けに設計された  
最新製品などを体験いただけるセミナーです。

この機会に是非ご参加ください。

<開催都市>

仙台 8月2日 / 新潟 8月23日 / 岡山 9月6日 / 京都 10月18日 / 横浜 10月25日

Aruba製品を実際に触れるハンズオントレーニング、Airheads スクール開催中！

(東京、名古屋)

[https://f-vr.jp/hpe\\_aruba/enq/mail\\_reg/airheads\\_ho/seminar\\_new\\_form.cgi](https://f-vr.jp/hpe_aruba/enq/mail_reg/airheads_ho/seminar_new_form.cgi)

#### バックナンバー

▼ Vol.1~49

▼ Vol.50~84

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。